

年頭所感

林野厅長官 本郷浩一



令和最初となる新春を迎える謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

A vertical woodblock print of the title '今市連時報' (Kinshi Rento Bo). The characters are arranged in three columns: '今市' (Kinshi) at the top, '連時' (Rento) in the middle, and '報' (Bo) at the bottom. The characters are bold and stylized, set against a background of horizontal lines. Small decorative elements like leaves and flowers are visible around the characters.

発行所

一般社団法人
全日本木材市場連盟
編集・発行人 小合信也
東京都文京区後楽 1-7-12
〒112-0004 林友ビル6階
電話 03(3818)2906
FAX 03(3818)2907
毎月1回1日発行
定価・年3,000円
(会員は会費に含まれています。)

でも全国から調達された木材が多く利用されています。木材輸出額も年々増加しており、今年も、更なる国産材需要の拡大、輸出の促進に向け取り組んでまいりたいと思います。

め、川上から川下までのそれぞれの取組やそれらの連携に對して総合的な支援を進めます。

労働人口が減少する中、どの産業においても生産性の向上に向けて、先端技術

われた大嘗宮に、長野県産カラマツや静岡県産スギなどの国産材がふんだんに使用されたことは、喜ばしいことでした。国民の皆様も、日本の国が木の文化を基に成り立っていることを改めて感じられたのではないでしょうか。

このところ、国産材の利用は着々と拡大しており、平成30（2018）年の木材自給率は、8年連続で上昇し36・6%となりました。都市部を中心とした非住宅分野や中高層建築物の木造化が進むとともに、CLT（直交集成板）を用いた建築物も全都道府県で見られるようになりました。今年開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会の主要施設

ることの重要性が一層増しております。昨秋の世論調査では、国民の方々もこのような森林の機能に大きく期待していることを再認識しました。林野庁では、国民の生命・財産を守るため、防災・減災、国土強靭化のための3か年緊急対策などに引き続き取り組み、災害に強い森林づくりを一層強力に推進していきます。

昨年の明るい話題といえば、何と言つても、平成から令和への新しい時代の幕を開けだと思います。その中で、木にまつわるものとして、大嘗祭の儀式が執り行

全国の市町村等いの森林環境計画を御用意いただき、一層の森林整備が進むことを期待しております。

こうした明るい兆しをより形とし、太い幹とすべく、林野庁では令和2年は、以下のような取組を進めることとしています。

ます。本年4月から、国有林野の一定区域において、公益的機能を確保しつつ、一定期間・安定的に樹木を採取できる樹木採取権制度が始まります。これにより森林経営管理制度の要となる林業経営体の育成を図ることを目指して、当面は、0箇所程度において、パイロット的に展

とともに、「林業イノベーション」の導入に向けた現場実装推進プログラムに基づいて林業現場への普及を加速化させ、林業を若者にとつて魅力のある「選ばれる産業」にしていきたいと考えています。最後に、本年のトピックを三点、御紹介します。

ハレや改質リクニンといった木質系新素材の開発などの「林業イノベーション」を実現していくではありませんか。林野庁としては、これらの取組を支援する

森林資源を「伐って、使つて、植える」サイクルを確立するためには、この豊富な森林資源を活用して林業を成長産業化させていくことが不可欠です。このため、林野庁では、成長産業化に向け、意欲と能力のある林業経営者の育成、木材加工流通施設の整備など、安定供給の確保、効率的なサプライチェーンの構築を含

区域において、公益的機能を確保しつつ、一定期間・安定的に樹木を採取できる樹木採取権制度が始まります。これにより森林経営管理制度の要となる林業経営体の育成を図ることを目指して、当面は、10箇所程度において、パイロット的に展開したいと考えています。

二点目は、地域の林業の重要な担い手である森林組合の経営基盤の強化を図るために、森林組合法の改正案を本年の通常国会に提出したいと考えています。合併以外の多様な組合間連携手法の導入、正組合員資格の拡大、理事会の活性化などを図るための制度改正により、森林組合

森林環境譲与税の使途に木材利用促進が位置付けられ、これまであまり木材が使われてこなった都市部等での木材利用拡大への絶好のチャンスが巡ってきているものと考えており、積極的な需要拡大に組織を挙げて取組むべき時と決意を新たにしているところです。

元々、森林資源は唯一の再生可能な循環資源であり、適時適切に伐つて使つて植えることが森林の活力を生かすことに繋がることは国民共通の認識となっています。

中高層ビルに木材を使うことで、大都市がCO₂を固定する環境都市に生まれ変わり、林業が成長産業化することで雇用の拡大が図られ、地方創生に資することにより、結果として森林資源もさらに充実して国土強靭化にもつながっていきます。

東京都の小池知事が提唱し、全国知事会に創設された「国産木材利用促進PT」や経団連・経済同友会が相次いで公表した提言には、都市が木材利用の促進に取り組むことで地方を支援していくという新しい枠組みが取り上げられており、行政や企業の木材利用に対する認識が着実に高まっています。

一方、こうした動きを支える技術の進化も進んでいます。

すでに大臣認定を受けた木質3時間耐火部材も開発済みであり、木造での超高层ビル実現も夢ではありません。

現実に昨年11階、9階、7階建てといった中高層ビルの木造化の計画が発表されしており、2～3年のうちに完成する予

特に、我々木材産業関係者にとっては、森林環境譲与税の使途に木材利用促進が位置付けられ、これまであまり木材が使われてこなった都市部等での木材利用拡大への絶好のチャンスが巡ってきているものと考えており、積極的な需要拡大に組織を挙げて取組むべき時と決意を新たにしているところです。

元々、森林資源は唯一の再生可能な循環資源であり、適時適切に伐つて使つて植えることが森林の活力を生かすことに繋がることは国民共通の認識となっています。

戦後長く続いた「木材は耐火性や耐震性等から都市では使えない」という考え方を180度転換し、都市木造化推進へ向けた国民的な動きを構築していくチャンスが来ていると確信します。今年は十二支の始まりのねずみ年で、こうした森林・林業・木材産業に吹く追い風をつかみ、本年を「ウッドファーム」といきたいと考へています。

スト社会の実現に向けた転換点」とすべく、全森連を始めとして広く林業関係団体や建築・建設関係の団体・企業とも力を合わせて、全木連の総力を挙げて取組をいたします。

皆様方のご支援、ご協力を是非お願い申し上げます。

本年が森林・林業・木材産業並びに皆様方にとって、素晴らしい一年となりましたことをご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

年頭所感

林野庁木材産業課

課長 真城 英一

定となっています。都市の木造化の動きが急速に広まっています。

オリンピック・パラリンピック関連施設をはじめ、都会で新しく建設される建物には木材が多く使われてきていますが、設計や施工に携わった方々からは、デザイン面や環境面だけでなく、経済面でのメリットについても木材の可能性を高く評価する声が多く聞かれ、環境に優

することができる時代がまさに到来しつつあると考えています。

戦後長く続いた「木材は耐火性や耐震性等から都市では使えない」という考え方を180度転換し、都市木造化推進へ向けた国民的な動きを構築していくチャンスが来ていると確信します。今年は十二支の始まりのねずみ年で、こうした森林・林業・木材産業に吹く追い風をつかみ、本年を「ウッドファーム」といきたいと考へています。

令和となり初めての新春を迎えるあたり、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。



このようなか、戦後造成された人工林資源が本格的な利用期を迎えており、これらの資源を循環利用し、林業・木材産業を成長産業化していくためには、木材の需要拡大とともに国産材の安定供給体制を構築する必要があります。

このように中、戦後造成された人工林資源が本格的な利用期を迎えており、これらの資源を循環利用し、林業・木材産業を成長産業化していくためには、木材の需要拡大とともに国産材の安定供給体制を構築する必要があります。

さて、近年の木材の自給率は、国産材の利用の着実な拡大により8年連続で上昇し、平成30年には36・6%となりました。これまでの国産材利用拡大に対する貴連盟及び会員各位の多大なるご貢献に深く敬意を表したいと思います。

昨年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会の主要施設や令和の大嘗祭の舞台となつた大嘗宮に国内各地の木材が使われるなどにより、木材への関心や気運の高まりに繋がる動きが多くみられるようになってきています。

海外に目を向ければ、TPP11に続きとともに、日米貿易協定も本年1月1日に発効しました。これらにより、世界経

済の6割をカバーする自由経済圏が誕生することになります。

また、生産現場の担い手不足が顕在化しており、林業・木材産業においても、労働安全対策の強化やICTの導入による生産性の確保など、働き方改革への対応が必要となっています。

林業・木材産業は、持続可能な森林經營や木材利用を通じて、国連の提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の達成に大きく貢献できる分野です。これらの取組を通じて、私たちの子や孫たちの世代が、豊かな森林の恩恵を享受できる未来を実現していくことが私たちの使命であると考えています。

結びとなりましたが、本年が全市連会

員の皆様にとって実り多き栄えある一年となりますよう祈念申し上げて、年頭の御挨拶とさせていただきます。

年頭のごあいさつ

林野庁義務課

企画官（国有林材安定供給担当）
田 口 譲



一部で林道やアクセス道路が被災し事業に影響が出たところもありますが、おおむね計画に沿った実行となっているところです。

昨年、新しい令和の時代を迎えました。

11月14～15日の大嘗祭の舞台となつた大嘗宮は、皮付きの丸太をそのまま使用する「黒木造り」と呼ばれる古代工法で長野県産のカラマツや静岡県産のスギなどが使われ、一般公開の際には多くの方々に我が国の歴史ある木の文化に接していくことができました。

また、昨年6月に国有林野の管理經營に関する法律を改正し、本年4月から新たに「樹木採取権制度」を始めることとなります。

新年あけましておめでとうございます。全日本木材市場連盟の皆様には、国有林野事業の実施に当たり、格別のご理解とご協力を賜つておりますことに厚くお礼申し上げます。

また、貴連盟の活動として木材アドバイザー制度等を通じた消費者への木材の魅力の発信に加え、新たに原木部会と製品部会を設置され、今後の課題解決に向けた活動を強化されるなど木材流通の要請も元気になるような取組を進めたいと思っています。

昨年は、東北や関東、中部地域などを中心に台風災害などで甚大な被害が発生しました。被災された方々にお見舞い申し上げるとともに、早期の復旧復興をお祈り申し上げます。国有林の現場では、

皆様のご発展とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

■林野庁人事異動 (12月1日付等 敬称略)

・退職→安永正治（盛岡署長）→宮沢一正（森林総研科長）→馬場敏郎（関東局計画保全部長）→森山昌人（森総研森林整備センター森林管理部長）→小林重善（東北局森林整備部長）→問島重道（愛媛署長）→唐澤智（津軽署長）→村上卓也（庁業務課）

■東京木材市場百周年記念 市開催

11月7日（木）、東京木材市場（株）（東京都江東区新木場 市川英治社長）は、同社創業百周年記念市を開催した。浜問屋2社（マルト木材、新木場相原）が百年を記念して、優良材多数を出品した。

中でも、木曽官材市売（協）が全面協力を確保しつつ一定期間安定的に樹木を採取できる権利を付与するもので、当面、全国で10箇所程度パイロット的に展開したいと考えています。もちろん、立木販売や製品販売は引き続き、これまで通り行つていきます。

業界の方々から教わった「不易流行」の精神で、良きものを守るために新しさにチャレンジし、川上も川下も地域も元気になるような取組を進めたいと思っています。

これらの取組を進める上では、皆様方のご協力が必須です。本年もお世話になりますがよろしくお願ひ申し上げます。

最後に、全日本木材市場連盟と会員の皆様にとつて実り多き栄えある一年となりますよう祈念申し上げて、年頭の御挨拶とさせていただきます。

12支の1番目「子」、何故1番かという民話。神様が干支の順番を決める時ネズミは猫を騙して遅刻させ、先頭にいた牛の背中に乗つていて牛より先にゴールに駆け込んだ。騙した猫に未だに追われるという因縁のゴールに駆け込んだ。騙した猫の御先祖様）は、ネズミ大で樹上性、その想像図はネズミと大差なく外見でネズミを馬鹿にしてはいけない。身近な家ネズミ（クマネズミ、ドブネズミ及びハツカネズミ）は外来動物。我々ホモ・サピエンスはアフリカ発祥で、多くがそのまま留まり、極一部が5～6万年前にアフリカを出て世界に拡散したと言われている。その過程で家ネズミと一種の共生関係を築き日本列島に定着したようである。ネズミのルーツを辿ると日本人のルーツが見えてくるという。北海道大学の鈴木仁教授によれば日本列島には約4500年前の繩文時代後期に中国南部から、33百年前の繩文時代後期に朝鮮半島から、2回ハツカネズミの移入があつたという。更に繩文後期より前に南アジアのどこからかハツカネズミが移入していることを示すDNAの断片も確認され、最近のDNAによる日本人の成り立ちの研究とも矛盾しないようである。長い旅を成し遂げた御先祖様とネズミのチャレンジ精神は見習うべきものがある。

雜記帳

謹んで新春の

ご挨拶を申し上げます

令和二年 元旦



代表取締役社長 西垣泰幸
西垣雅史



北海道木材市場協同組合

理事長 加賀谷 雅治

定例市日 第一、第四 水曜日
代表取締役 守屋長光

〒〇〇二一八〇五二
札幌市北区篠路町上篠路七一八
電話〇二一一七七五一七七五五

青森県森林整備 事業協同組合

理事長 川崎幸宏
(原木市場)

定例市日 一八日
本社 代表取締役 安藤裕一
本社 水戸市千波町一八八四
電話〇二九一二四一一三二一代

〒〇三〇一〇九五五
青森市大字駒込字桐ノ沢一二九一
電話〇一七一七四三一五四一一

秋田中央木材市場株式会社

代表取締役 社長 工藤茂丸

定例市日 本社 (毎月十三日)
代表取締役 社長 打越芳男
本社 水戸市千波町一八八四
電話〇二九一二四一一三二一代

〒〇一〇一〇九四一
秋田市川尻町字大川反二三三二一七

電話〇一八一八六三一二二二二〇
電話〇二九一二三二一三一一

株式会社 山形城南木材市場

代表取締役社長 安部雄祐

定例市日 八・十八・二十八日

電話〇二三三一六八八一一〇一二
FAX〇二三三一六八八一一〇一二

株式会社 吾野原木センターア
代表取締役 社長 鳴下文明
定例市日 針葉樹 每月五日・一〇日
広葉樹 每月二三日又は三日
電話〇四二一九七八一二二三四六
FAX〇四一十九七八一二二八七

株式会社 宇都宮総合木材市場

代表取締役 金子利雄

定例市日 七・十七・二十七日

〒三二一〇四一四
栃木県宇都宮市中里町七一八一四
電話〇二八一六七四一一七四八(代
FAX〇二八一六七四一四三八六

千葉県木材市場協同組合

代表理事 吉岡 實
定例市日 每週木曜日

〒二八三一〇八二三
千葉県東金市山田八〇〇

電話〇四七五五五一六一七一
FAX〇四七五五五一六一七一

(一社)全日本木材市場連盟 全市連福祉共済

【悠久コース】
70歳まで継続加入
できます!

*悠久コースのみの新規加入はできませんのでご注意ください。

皆様のご加入を! お待ちしております。

豊田事業所／豊田工場
〒四七〇一〇三七一
愛知県豊田市御船町山ノ神五六一二一六
電話〇五六五七七一〇七七 FAX(〇五六五)七七一〇七八

四国事業所
〒七八三一〇六〇
高知県南国市螢が丘一一一三〇四号室
電話〇八八八二一六九九六 FAX(〇八八八)八二一六九九七

高山出張所
〒四七〇一〇三七一
電話〇五六五七七一〇七八

FAX〇一八一八六三一二二二〇
FAX〇一〇一〇九四一
秋田市川尻町字大川反二三三二一七

電話〇一八一八六三一二二二二〇
電話〇二九一二三二一三一一

茨城県水戸市渋井町五〇
〒三二一〇一〇八二六
電話〇二九一二三二一三一一

「次に向かつて創立百周年」

東京木材市場株式会社

代表取締役社長 市川英治
代表取締役専務 村井宏次

本社・市場

〒136-0008
東京都江東区新木場二-1-18
TEL ○3-3521-1711-15
FAX ○3-3521-1711-15 (代表)

市日 毎週木曜日

TEL ○3-3521-1711-15 (市売)
越谷センター
埼玉県越谷市大間野町一-1-30
TEL ○48-1989-10-17-1

株式会社 東海木材相互市場

代表取締役社長

鈴木和雄

<http://www.kirakuninet.com>

本社

〒456-0033 愛知県名古屋市熱田区花表町二十二番一号
電話 ○52-1-88-1-155-1-30-82

西部市場
〒49-0-1444 愛知県海部郡飛島村木場一丁目十七番地
電話 ○56-7-55-1-0-155 FAX ○56-7-55-1-25-38

大口市場
〒48-0-1221 愛知県丹羽郡大口町河北二丁目二番地
電話 ○58-7-95-1-10-1 FAX ○58-7-95-1-20-5

サテライト美並
〒50-1-410-1 岐阜県郡上市美並町上田字小倉塚三五-六番
電話 ○57-5-179-1-50-55 FAX ○57-5-179-1-50-60

サテライト名倉
〒44-1-4331 愛知県北設楽郡設楽町東納庫字ムカイ山十六番
電話 ○53-6-163-1-345-6 FAX ○53-6-163-1-353-5

飛騨匠工場
〒50-6-0035 岐阜県高山市新宮町一二番地八
電話 ○57-7-136-1-543-9 FAX ○57-7-136-1-593-9

福島県木材市場協同組合

理事長 佐藤政俊

〒九六〇-八〇四三

福島市中町五-1-八

TEL ○2-4-1-5-3-1-2-3-0-7
FAX ○2-4-1-5-2-1-1-3-0-8

福島県郡山地区木材製材協同組合

株式会社平木材市場

有限会社福島原木センター
南東北木材株式会社
協同組合奥久慈木材流通センター

株式会社 ゲンボク

代表取締役社長

岡田育大

市売日 製品 (徳島県木材センター内)
毎月八の日
(但し祝日・土曜日繰上・繰延)

本社

徳島市中昭和町一丁目三番地
電話 (○八八) 六五三-○一〇六

木材センター

徳島市津田海岸町四番三一号
電話 (○八八) 六六三-一二二七五

木材アドバイザー養成講習会

(東京会場)

令和2年2月14日(金)
2月15日(土)

木材会館(東京木材問屋協同組合)会議室
東京都江東区新木場1-18-8
木材会館

(大阪会場)

令和2年2月21日(金)
2月22日(土)

大阪木材仲買会館
大阪府大阪市西区南堀江
4丁目18番10号

株式会社伊万里木材市場

木のやさしさ...人へ未来へ。

本社
〒849-14252
佐賀県伊万里市山代町楠久津一四五番地三〇
TEL ○955-120-12-18-3 (代表)
FAX ○955-128-12-8-5-5

福岡営業所

〒824-106-04
福岡県田川郡添田町野田一九二七
TEL ○947-18-2-15-0-1
FAX ○947-18-2-15-0-1

大分営業所

〒879-154-13
大分県由布市庄内町大龍一-2-0-8-1
TEL ○97-158-6-1-2-2-1
FAX ○97-158-6-1-2-3-3

南九州営業所

〒899-186-06
鹿児島県曾於市末吉町深川八八六六番地二
TEL ○98-6-1-2-8-1-0-2-2-8
FAX ○98-6-1-7-9-1-1-7-7-7

南九州営業所

〒899-186-06
鹿児島県曾於市末吉町深川八五-五番地二
TEL ○98-6-1-3-6-1-4-8-8-0
FAX ○98-6-1-3-6-1-4-8-8-1

糸島事業所

〒819-1-56-3
福岡県前原市高来寺三四-1番
TEL ○92-1-33-1-15-0-1
FAX ○92-1-33-1-15-0-1

木の駅伊都山燐

ホームページ <http://www.inarimokuzai.co.jp>
メールアドレス imamoku@imarimokuzai.co.jp

全市連時報

(第741号)

令和2年1月1日 (8)

<p>株式会社 福山中央木材市場</p> <p>代表取締役 長 小林方之</p> <p>FAX ○八四一九六三一一〇〇一 一三二六一二 〒七二〇一二二二四 広島県福山市神辺町川南</p>	<p>「木の目、木の肌、木の香り」 活かして使おう国産材</p> <p>国産材専門の産地市場 美作材優良桧・杉・松・その他 市 日 素材 每月本社8の日・新見支店3の日 製品 每週木曜日</p> <p>株式会社 津山綜合木材市場</p> <p>代表取締役社長 木下恒久</p> <p>本社 〒708-0011 津山市上田邑2880 素材部・製品部 TEL (0868) 28-7777(代) FAX (0868) 28-7890</p> <p>新見支店 〒719-3811 新見市哲西町大竹330 TEL (0867) 94-3111(代) FAX (0867) 94-3555</p>	<p>〒六九三一〇〇二二一 出雲市上塩治町八九〇一 電話 ○八五三一二二一一八五五 ○八五三一二二一三六〇二</p> <p>代表取締役 三吉庸善</p> <p>定例市日 每週火曜日</p>
<p>肥後木材株式会社</p> <p>取締役会長 佐藤耕三 代表取締役社長 佐藤圭一郎</p> <p>定例市日 11・19・27日 8・25日(人吉市場)</p> <p>本社 〒861-8012 熊本市東区平山町2986-11 (T) 096-389-0022 (F) 096-389-8911</p> <p>人吉 〒868-0094 球磨郡相良村深水2500-3 (T) 0966-35-0882 (F) 0966-35-0886</p>	<p>福岡市木材協同組合</p> <p>理事長 伊藤正隆</p> <p>FAX ○九二一七七一三〇四四 福岡市中央区那の津三丁目十六一六</p>	<p>高知営業所</p> <p>本社 〒七六〇一〇〇五五 高松市観光通り二一〇一十五 電話 ○八七一八三三一二三二一 FAX ○八七八三一三〇四〇</p> <p>高知市仁井田新築四五〇三番地一 電話 ○八八一八四七一七五二 FAX ○八八一八四七一六七三三一</p>
<p>都城原木市場株式会社</p> <p>代表取締役 長 上原昭一</p> <p>都城定例市日 二二・二六日</p> <p>小林定例市日 二二・二六日</p> <p>都城 電話 ○九八六一〇〇一七八八 大字北西方一七八八 一七二〇二八</p> <p>都城 電話 ○九八六一〇〇三五 立野町三八三三一 一三二一四八六五</p>	<p>株式会社 ナンブ木材流通</p> <p>代表取締役社長 武内暁男</p> <p>〒877-1371 大分県日田市大字東有田2882-10 TEL 0973-22-4054 FAX 0973-22-4187 URL info@nanbumokuzai.com</p>	<p>(協)高知県 木材市場連盟</p> <p>事務局 株式会社ゲンボク市場内 〒780-0850 高知市丸ノ内2丁目1-23 アイビル1F TEL 088-826-8231 FAX 088-826-8233</p> <p>高知県林材株式会社 代表取締役 秋山順一 株式会社ゲンボク市場 代表取締役社長 尾崎徳七</p> <p>〒七九八一二二四 愛媛県宇和島市三間町増田三八九 TEL ○八九五一五八一三〇三三 FAX ○八九五一五八一四五四</p>
<p>大木坑木有限会社</p> <p>取締役所長 二宮政文</p> <p>(定例市日) 月二回 十五日・三十日</p>	<p>台風19号等で被災された皆様へのお知らせ</p> <p>台風19号等により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。 (独)農林漁業信用基金では、災害復旧を支援する「林業・木材産業災害復旧対策保証」を平成31年4月から始めています。</p> <p>・災害復旧保証は、通常の保証限度額とは別枠で8,000万円まで保証します。 ・また、保証料が最大5年間免除されます。</p> <p>対象とする災害：林野庁長官の指定する令和元年8月から9月の前線等に伴う大雨(台風第10号、第13号、第15号及び第17号の暴風雨を含む。)、台風第19号、第20号及び第21号の暴風雨による災害(令和元年12月6日現在)</p> <p>詳しくは、当基金または取引先の銀行、信用金庫、信用組合などの金融機関へ</p> <p>独立行政法人 農林漁業信用基金</p> <p>〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号 TEL : 03 (3294) 5585、5586 FAX : 03 (3294) 5595 災害復旧保証の詳細はこちちら(URLまたはQRコード)をご覧下さい URL : http://jaffic.go.jp/whats_kikin/guide/rin/rin-saigaihosh.pdf</p>	